

2021年7月27日(火) 「防災塾・だるま」談義の会・サロン別打合せ

<B サロンの報告> 共助の防災力向上を目指すサロン

出席者：磯野、稲垣、荻原、早川、増田、山田(美) 欠席(松原)

(今回 Zoom 参加者なし)

【B サロンの活動進捗状況とこれからの取りくみ予定】

●新しいメンバーとして荻原洋聡さん 加入

○自分の地域の災害リスクを踏まえた『地震・津波・土砂災害』の

マイタイムラインを自由に作成して持ち寄り検討。

B サロンとしての共通した「マイタイムライン」書き込みをしていける

書式を開発していく。地域の住民や自治会に提案して提出。書いてもらった

マイタイムラインについて分析、改良して地域に実際に役立つものにする。

○B サロン担当：11月26日(金)の談義の会は「被災者0を目指す、自助・

共助、公助との連携」をテーマに北綱島小学校防災拠点運営員会垣中副会長

を講師に企画しているが共助の有り方にポイントをおき、B サロンとしての

研究成果も発表できるようにしたい。

C:「公助連携力向上」サロンメモ (3)

- ◆日 時：2021年7月27日(金) 15:45~16:30
- ◆会場：新型コロナウイルス感染症の影響により、横浜市青少年育成センター第二研修室(会場)及びオンライン方式との併用開催

C サロンのメンバー紹介等

- ◎鷲山龍太郎、高松清美、山口章、太西正男(新)、田中(喜)
- オンライン参加 江上健、江上富美子
- 今回から新メンバー参加、太西氏 自己紹介 (記録は田中)

「災害を克服できる防災まちづくり・防災教育」の未来像を考える

- * 改めて佐藤さんの話を聞いて、自分の考えていることが間違っていないかった。
太尾小は、水害の問題もある。浸水地域だが、ハザードマップに入れる必要はないのか。太尾小もこれから考えたい。
- * 上大岡の方も浸水地域になっている。
- * 日赤の仕事をしているが、鶴見区、緑区、都筑区等はかなり進んでいるが神奈川区は活動が少ない。区によって力の入れ方の温度差がある。
- * 横浜市の避難所は地震対応の場所。拠点は遠いので自治会館にしたいと行政に進言しているが考えてもらえない。
避難所の対応は風雨、地震で違う。地域で手上げ方式で避難所を作っていく必要があるのではと思っている。
- * 避難所の運営。開錠の確認。子供の引き取り方法の確認。地域との連携。が特に大切。
- * 全体のコミュニティが必要
- * 地区防災計画があるが→教育委員会との連携も必要。

以上 田中

D サロン「時事防災サロン」

- 日時：2021年7月27日(火) 15:45~16:45
- 会場：横浜市青少年センター第一研修室(今回 Zoom 参加者なし)
- 出席者：池田、佐々木、中島、樋口(Dサロンリーダー)、半田(非会員、談義の会に参加して頂いた)
- 閲覧資料：Dサロン取り扱いテーマについて(6月25日Dグループメール)

D サロンの取組テーマ（進め方）

* 鶴見川に対しては未だ不完全ではあるが、源流部から河口部までを一つの流域と捉え、様々な取り組み（水マスタープラン）がなされている（現在進行形）。

* テーマはSDGsに立ち返って選ぶべき。

* 現在起きている気象現象がいかに異常かを再認識し、「**気象情報の見方・活かし方**」を知ることが必要ではないか：現象（相手）を知らなければ、対処のしようがない。
→気象台に行って、情報収集。または気象台の人に来て話してもらったらどうか。

A サロンは、談義の会に対する意見交換が活発に行われた結果、今後の取組みを話し合う時間が取れなかった。

その分を日常的な、Zoomによる情報交換でカバーしていく。